



市政への提言

“私のひとこと”

6月実施分



市政への提言「私のひとこと」は、市民の皆様から市政に対するご意見をいただき、住みよいまちづくりを進めるために実施しています。今回は33件の投書をいただいた中から5つのご提言を紹介いたします。なお、紙面の都合により、文章を要約したり文言を一部修正したりしている場合がありますのでご了承ください。

いただいたご提言は、今後の市政運営に活用させていただきます。

提言

市内入浴4施設の半年間券について、病気で使用ができなくなった場合、使用期間を延長していただきたいと思っています。

回答

年間利用券及び半年利用券の料金につきまして、お客様の利便性の向上や顧客の確保等を目的として、特別な割引価格での設定となっております。

もともと格安な設定を行っていることから、今回ご質問いただきましたような不慮の事故や病気等により施設を利用できなくなった場合の期間延長は想定しておらず、券の裏面に記載のとおり、「お客様の都合による利用券の途中解約による返金および期限延長はできない。」こととしております。

ただ、年間利用券及び半年利用券ができてから5年が経過し、いろいろなご意見もいただいていることから、金額も含め当制度を見直す時期に来ていると考えております。



提言

市の職員が定年となった後、天下りの実態があるかどうか教えていただきたいと思っています。

回答

一般的に、天下りとは、退職した公務員がその業務と関連のある外郭団体、民間企業や公社・公団などに就職することを指しております。

市では、現在、各団体等の要請に基づき退職職員の就職推薦を行っておりません。

また、市の臨時職員等としての任

用につきましては、適材者の発掘や公平、透明性を図るため、原則として公募により採用を行っております。非常勤特別職や専門性の確保を必要とする分野につきましては、一部において退職後の職員が勤務している部門がありますが、これは勤務の特殊性やその職員の知識等を考慮したものです。

市職員が定年を迎えた後は、市行政や地元自治会活動などに積極的に参加し、協働のまちづくりの一助として活動していただきたいと考えております。

提言

東部地域と北御牧地域のごみ袋の価格差について教えていただきたいと思っています。

回答

平成16年に東部町と北御牧村が合併して、東御市が誕生しましたが、ごみ処理に関しては合併前と変わらず、東部地域は上田地域広域連合東部クリーンセンターで、また北御牧地域は川西保健衛生施設組合の清掃センター及び粗大ごみ処分場で行っており、一市二制度の状態となっております。指定袋も別になっており、ごみの分別方法も違う点があります。

ごみ袋の単価に価格の差があるのは、東部地域では平成15年にごみ減量化対策「クリーンリサイクルタウンとうぶパートナー3」として、燃える

ごみ指定袋に処理料金の上乗せを行いました。北御牧地域ではごみ処理料金の上乗せがないためです。

現在、佐久市、軽井沢町、立科町では新ごみ焼却施設を共同で整備する計画があり、新しいごみ焼却施設稼働後に「川西清掃センター」は廃止される予定で、これにより一市二制度の解消を図りたいと考えております。



提言

東日本大震災に関わる、各中学校の支援活動の状況について教えていただきたいと思っております。

回答

まず、北御牧中学校の取り組みにつきましては、毎年吹奏楽部では3月に「ありがとうコンサート」と題して地域の方々への感謝を目的に開催していただのですが、3月11日の震災後、生徒会が中心となり被災者への義援金及び節

電の呼びかけを行うために、急ぎよ計画を変更して実施いたしました。

おかげさまをもちまして、多くの皆様から義援金をお寄せいただきました。大変ありがとうございます。東部中学校につきましては、生徒会が中心となり校内において募金活動を現在も継続して実施しております。生徒数が多いため、1人1円又は10円でも継続して募金することにより大きな金額になります。授業参観時には、保護者の方々にも募金に協力をいただいております。

また、毎年行っている、もみじ祭（文化祭）資金集めのための資源回収では、今年は収益金の一部を募金し、いままでの募金全額を8月末に社会福祉法人東御市社会福祉協議会へ送金する予定です。

今後は、生徒達自身で実施できる範囲内で継続的に募金を行い、震災復興の一助となるような活動を行ってまいります。



提言

消防団員確保への取り組み状況、各消防団の年間経費の差などについて教えていただきたいと思っております。

回答

消防団は要員動員力及び即時対応力を持つ力強い組織であり、指揮命令のもと結束して火災や災害の対応をするほか、行方不明者の捜索や地域コミュニケーションの形成にも大きな役割を果たしており、市の安全安心を考えるうえで重要な組織と考えております。このため、市では団とともに団員確保を促進しているほか、装備品などについても充実を図っているところであります。各区の消防団の存続については、最終的には区民の総意と考えておりますが、時間をかけ、十分な議論をお願いしているところであります。

自衛消防隊は現在市内に5隊組織されており、区内の自主的な予防消防活動に努めております。自衛消防隊には、ポンプ一式、被服一式を貸与いたしますが、そのほかの装備品は車両も含め、各隊で準備していただいております。

市から各区の消防団へは、ポンプ管理料や団員数に応じた訓練費などを交付しております。各消防団は、この他に区からの収入や自ら寄付に回るなどして団を運営しており、年間経費の大きな差はこれによるものと思われまます。これについては、各

区、各団とも状況が違いため、市から一律の基準を設けることは難しいものと考えます。

消防団員の確保は東御市に限らず、いずれの市町村も苦慮している状況です。近年の消防ポンプの機能向上により、団員定数の削減、定年制の廃止、市外在住者においても市内企業への勤務者は入団を可能にするなど様々な取り組みをしてきております。「自らの地域は自らが守る」ためには、一定数の消防団員の確保は必要なものと考え、ご協力、ご尽力をお願いしているところであります。



今回の「市政への提言」私のひとこととは、11月に実施する予定です。

●問い合わせ先

企画課 企画政策係
TEL 64-5893